

公開シンポジウム
コロナ・パンデミックと格差・分断・貧困
——現状と今後——

主催：日本学術会議社会学委員会社会理論分科会
日本社会学会

開催場所：追手門学院大学総持寺キャンパス

開催日時：2022年11月13日14:00-17:00

参加無料 参加申込不要

コロナ・パンデミックは、単なる世界的疫病流行というにとどまらず、人びとの社会生活に重大な影響を及ぼした。しかしその影響は、それぞれの人の置かれた状況によって大きく異なった。そのため、21世紀に入って急浮上してきた格差・分断・貧困の問題は、いっそう苛酷なものとなった。本シンポジウムは、拡大する格差・分断・貧困の現状を多面的に分析し、「誰も取り残さない」明日を多くの参加者とともに展望しようとするものである。

14:00-14:10 開会挨拶&開催趣旨：

遠藤薫（連携会員、日本社会学会常務理事、学習院大学）

14:10-15:10 講演：

橋本健二（早稲田大学）現代日本における階級構造の変貌とコロナ・パンデミック

長松奈美江（関西学院大学）コロナ禍における生活困窮と支援制度の役割

石岡丈昇（日本大学）マニラのスクオッター地区からみるコロナ・パンデミック

15:10-16:50 パネル討論

司会：中村高康（連携会員、東京大学）

パネリスト：

有田伸（第一部会員、東京大学）コロナ・パンデミックと就業

筒井淳也（連携会員、立命館大学）コロナ・パンデミック

と職業・ジェンダー

村上あかね（連携会員、桃山学院大学）コロナ・パンデミック

とハウジング

15:40-15:50 休憩 10分

討論 30分

全体討論 30分

16:50-17:00 総括&閉会の挨拶：

山田真茂留（連携会員、日本社会学会理事、早稲田大学）

問合せ先：東大有田研究室 (sarita@iss.u-tokyo.ac.jp)

